

幹主吉重三木鈴

# 鳥(い)赤

鈴木三重吉 創刊 『赤い鳥』とフランス語文学の移入と再話。

La revue  
Akai Tori de  
Miekichi SUZUKI:  
Les modes  
d'appropriation  
des œuvres  
de la littérature  
française

2018  
12月2日(日) 15:00~  
**広島大学**  
東千田総合校舎 S 棟 208

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1丁目1-89  
※ 本会場に駐車場はございませんので、車の来場はご遠慮ください。

登壇者

武藤 清吾 (琉球大学教授) 『『赤い鳥』とその時代』

溝淵 園子 (広島大学大学院教授) 『『赤い鳥』と海外の作家』

東海 麻衣子 (広島大学客員講師) 「文人たちの愛したフィリップー日本におけるシャルル＝ルイ・フィリップの受容について」

宮川 朗子 (広島大学大学院教授) 「児童雑誌の詩学ーアンドレ・リシュタンベルジェの作品を中心に」

野呂 康 (岡山大学准教授) 「伝記記述と作家の生涯ーシラノ・ド・ベルジュラックの項目」

司会：金澤 忠信

お問い合わせ

岡山大学 全学教育・学生支援機構 野呂 (086-251-8448) yas\_edo@okayama-u.ac.jp



挿絵：清水良雄「たんぽぽ」  
『赤い鳥』4巻5号(大正9年5月刊)

フィリップ、リシュタンベルジェ、  
ドーデ、シラノ・ド・ベルジュラック：  
「赤い鳥」執筆陣が当時注目した外国語文学の数々。  
日本における外国語文学の受容と  
領有の諸相を探る。

当日の発表に基づいた論考の一部を、  
本会の定期刊行誌『フランス文学』第32号に  
収録する予定です。(2019年6月刊行予定・頒価 ¥1,000 [税込])

外国語文学の移入と再話という視点から『赤い鳥』を扱った  
シンポジウムの貴重な記録となります。

『フランス文学』第32号の購入をご希望の方は、ご予約承ります。

【ご予約方法】

■シンポジウム当日の受付 — 本シンポジウムのチラシに付随する予約票に必要事項を明記の上、会場にて承ります。  
(予約票をお持ちでない場合でも、会場にて予約票にご記入いただき、ご予約を承ります。)

■その他のご予約方法 — 本シンポジウムの告知ポスター、チラシ内「お問い合わせ」に記載のEメールまでご一報ください。  
(岡山大学・野呂 yas\_edo@okayama-u.ac.jp 宛。折り返しの返信メールにて、お振込先など必要事項をお知らせいたします。)

※ 刊行後の発送は、本会が責任を持ってお手元にお届けいたします。